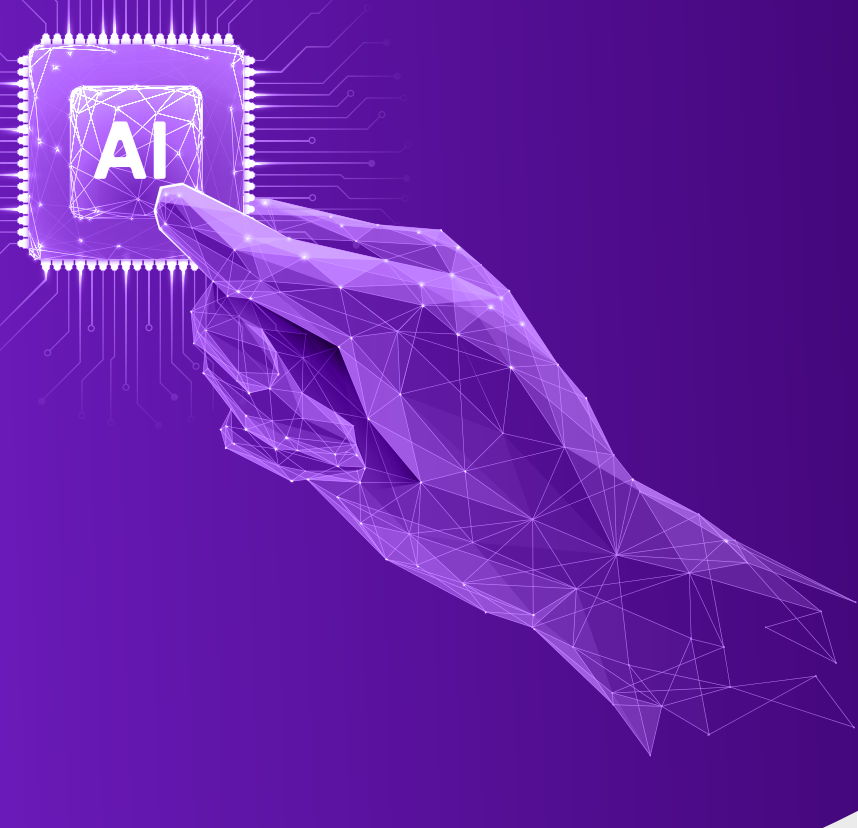


産業機器メーカー向け リマニュファクチャリング (再製造) 業務能力モデル

利益率回復、循環型設計、AI 活用の実現へ

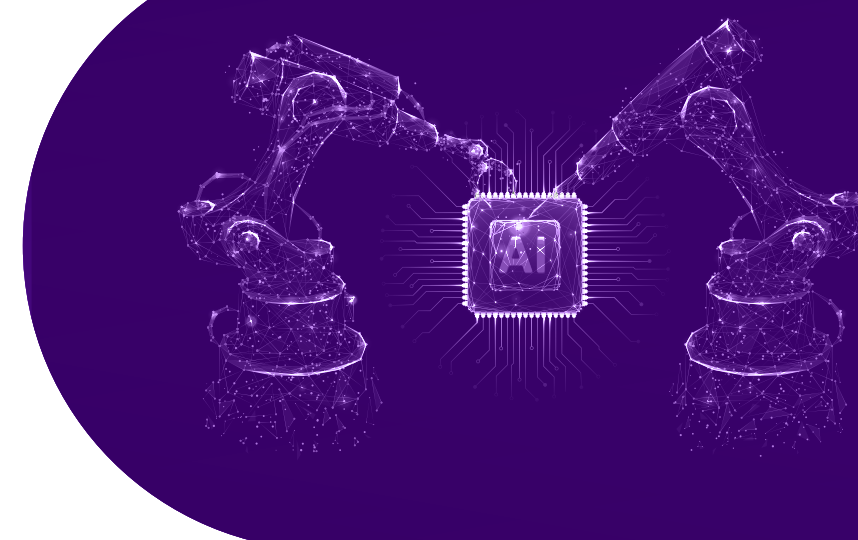


リマニュファクチャリングの進化段階： 4つのステージ

サプライチェーンの混乱は、何十億規模の損失をもたらします。原材料コストは変動が激化し、環境・社会・ガバナンス (ESG) 規制が年々厳格化しています。しかし多くの企業では、コストや回収可能性をリアルタイムに把握できないままリマニュファクチャリングの意思決定を行っているのが現状です。

IFS のリマニュファクチャリング業務能力モデルは、こうした課題に対応するため、スケーラブルな体制構築を支援し、利益率の回復とサプライチェーンの強靭化を実現します。

結論：統合されたリマニュファクチャリングの体制を確立している製造業は、返品製品から最大限の価値を回収できます。一方、体制が整っていない企業では利益を失うリスクがあります。



ステージ 1：受動的

“その場しのぎの対処”

定義：正式なリマニュファクチャリングプログラムが存在せず、活動は局所的かつ非体系的

特徴：

- 標準化された返品プロセスがない
- 回収製品のコストや利益率が不透明
- 製品故障時の修理は場当たりの
- リマニュファクチャリングを考慮していない製品設計

技術的課題：ツール間連携なし、データ手入力、Excel 管理に依存

AI 機能：未導入

主なリスク：回収価値の損失、在庫の減損処理、廃棄率の増加、コンプライアンス違反のリスク

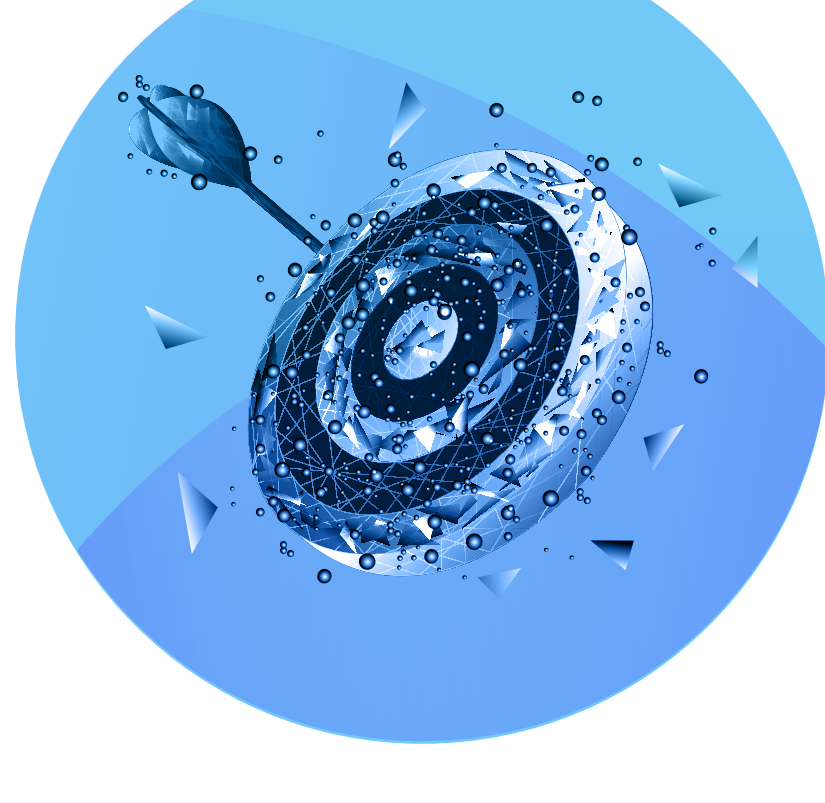
次のステップ：リマニュファクチャリングで利益率回復につながる原材料コストの圧迫要因を特定



ステージ 2：限定的

“部分的な導入”

定義：高価格帯製品の一部でリマニュファクチャリングを実施



特徴：

- 特定製品のみ非公式プロセスを適用
- 基本的な回収プログラムを整備
- 事業部門ごとに異なる取り組み
- リマニュファクチャリングを考慮した設計は一部のみ

技術的課題：ツールの分散化、限定的な ERP 活用

AI 機能：試験的に単独導入（返品数の予測など）

効果：一部の製造ラインでコストと廃棄を低減

次のステップ：基幹 ERP システムと統合し、コストの総額を可視化と管理

ステージ 3：戦略的

“体系的優位性”

定義：ビジネス戦略と投資利益率 (ROI) 目標にリマニュファクチャリングを組み込む

特徴：

- 複数製造ラインで返品プロセスを標準化
- データを集約し、複数製品の状況を可視化
- 設計初期からリマニュファクチャリング基準を適用
- 部門横断型のガバナンスを確立

技術的課題：統合 ERP によるコスト管理と在庫のリアルタイム可視化

AI 機能：需要予測と計画、コスト試算、部品構成表 (BOM) の自動集計

効果：リアルタイムの意思決定、利益率の最適化、ESG トレーサビリティの確保

次のステップ：AI 搭載の見積ツールを導入し、製造 / 調達 / リマニュファクチャリングの最適な選択肢をシミュレーション



ステージ 4：循環型

“循環型の価値創出”

定義：循環型ビジネス戦略と持続可能な成長の柱としてリマニュファクチャリングを組み込む



特徴：

- 製品設計の段階からリマニュファクチャリングを前提に開発
- 予測型の回収物流と資産回収を実施
- ESG を完全統合し、循環型 KPI 設定
- 設計基準にリマニュファクチャリング対応を義務化

技術的課題：クラウドネイティブの ERP+AI、デジタルツイン、製品ライフサイクル管理 (PLM) の統合

AI 機能：高度なインテリジェンスを活用したリアルタイムの意思決定

効果：循環型の収益構造を確立、輸入依存度の低減、サプライチェーンの強靭化

次のステップ：グローバル展開、循環型設計の標準化

循環型優位性の戦略的推進要因

基盤領域

- ERP 統合：コストの総額と関税を BOM / 調達プロセスに反映
- 設計統合：PLM システムに循環型設計の基準を適用

インテリジェンス領域

- AI 予測：需要、コスト、返品数を予測
- 製品見積：製造 / 調達 / リマニュファクチャリングの最適な選択肢をシミュレーション
- デジタルツイン：リマニュファクチャリングの ROI をライフサイクル全体で可視化

意思決定領域

- 需要計画：数量および売上別の予測
- コスト試算：リアルタイムでの収益シナリオ分析

リマニュファクチャリングに取り組むべき理由

- **輸入コストの高騰：**主要な原材料全般の関税引き上げ
- **原材料の不足：**供給ショックによる価格高騰と調達リスクが加速
- **規制の強化：**ESG と循環型経済に関する規制が年々厳格化
- **AI 活用の進展：**リアルタイムかつスケーラブルな意思決定が可能に
- **設計要件の変化：**リマニュファクチャリングを前提とした製品設計がスタンダードに

リマニュファクチャリングを進化させ、 価値を最大化

- 包括的なロードマップを入手
- 次世代のリマニュファクチャリングを実現する IFS.ai の仕組みを理解
- ライブデモで循環型 ERP を実感

失われた価値を取り戻し、循環型ビジネスの成長の加速を支援します

IFS へのお問い合わせはこちら

お問い合わせ

IFS について

IFS は、エンタープライズ・クラウド・ソフトウェアのプロバイダーとして、「ものづくり」、「サプライチェーン」、「設備の維持管理」、「サービス中心のビジネス」を支援するためのソリューションを開発し、世界各地の企業に提供しています。

IFS の業界固有の要件に対応した製品は、1つのプラットフォーム上で、本質的に単一のデータモデルに結び付けられており、組み込み型のデジタルイノベーションを使用しています。現在、IFS は 7,000 人の従業員を擁し、IFS のソリューションは全世界で 6,500 社を超えるお客様に導入されています。

詳細につきましては、ifs.com/ja でご確認ください。